

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2021 年 1 月 19 日

「(案件名) 中央アジア地域における観光開発分野に係る情報収集・確認調査」

(公示日:2021 年 1 月 6 日/公示番号:20a00870)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.4 7 プロポーザル等の提出 (6)見積書 4)その他留意事項 c)旅費(航空賃)	当該箇所では指示されている、「Y クラス航空券(往復)」900 千円は、現地に派遣する団員1名に関する居住地＝対象3か国中の1国、を往復する航空券費用として理解してよろしいでしょうか。	現地に派遣する団員 1 名が現地調査対象である 3 カ国(ウズベキスタン、キルギス、カザフスタン)をまとめて周遊した場合の航空券費用の合計金額を指しています。なお、コロナ感染状況の結果、周遊可否についても変更になる可能性はございます。
2	P.4 7 プロポーザル等の提出 (6)見積書 4)その他留意事項 (明確な記載なし)	3か国間の移動は、空路によるものと理解してよいでしょうか。また、この場合の移動条件、見積もり条件があればご指示ください。	3 カ国間の移動は、空路を想定しています。上記 1 のとおり、3 カ国周遊を前提に定額単価(=900 千円)で計上してください。業務渡航条件については、幣機構 HP に掲載の「JICA の国別安全対策情報」をご確認頂ければ幸いです。 https://www.jica.go.jp/about/safety/rule.html
3	P.4 7 プロポーザル等の提出 (6)見積書 4)その他留意事項 (明確な記載なし)、及び	第3 特記仕様書案 に記載されている内容のうち、現地渡航を伴う調査内容は、 5. 調査の内容 (2)対象国(中央アジア 5 か国)における観光セクターに係る文献・インタビュー調査	基本的には、5. 調査の内容(2) 対象国(中央アジア 5 か国)における観光セクターに係る文献・インタビュー調査全般を想定しています。 ①本邦調査では入手困難な統計データなどの資

	P.16 第3 特記仕様書案 5. 調査の内容 (2)対象国(中央アジア5か国)における観光セクターに係る文献・インタビュー調査	のインタビューがその業務内容の対象になると理解してよろしいでしょうか。 その場合、 ①インタビュー以外の活動で想定されているもの(例えば、観光地等の実地調査)があればご教示ください。 ②インタビューの対象組織として想定されている範囲(国家機関、地方行政機関、その他等)があれば、お聞かせください。 ③首都のみでの活動を提案するのと、各国の代表的観光地を擁する地方自治体へのインタビューを含めて活動を提案する場合とでは、各国内の移動費用が大きく変わってきます。この場合の提案内容の評価と価格評価の関係について、ご教示をお願いいたします。また、各国内の移動条件、見積もり条件があればご指示ください。	料の収集や観光地等の実地調査も含まれます。 ②各国中央省庁(観光関連行政組織)、各国観光協会、各国在日観光局、学術研究機関、国際機関(UNWTO、ADB、UNESCO、WB 等)、各観光事業者、NGO 等を想定しています。 ③本案件は「従来型の企画競争」となりますので、P.5 の「8 プロポーサル評価と契約交渉権決定の方法」のとおり、技術評価を行います。 国内移動の費用については、別見積もりでのご提出をお願いします。
4	P10 第2 プロポーザル作成に係る留意事項 1 プロポーザルに記載されるべき事項 (2)4)要員計画 脚注 P15 第3 特記仕様書案 4 調査実施の留意事項	P10 に示されている、「ロシア語に対応できる人員」には、P15 に示されている、「対象国在住団員(現地傭人もしくは現地再委託)」を充てることのできる、との理解で良いでしょうか。 また、上述 P15「対象国在住団員(現地傭人もしくは現地再委託)」の人材について、同一人物が適任者である場合には、現地調査時の通訳者として従事するときには「現地傭人」、調査等を行うときには「現地再委託」として要員計画、見積もりを作成することで	ロシア語に対応できる人員としては、「対象国在住団員(現地傭人もしくは現地再委託)」から充てて頂くことは可能です。但し、渡航前の本邦にて文献調査する等においても、ロシア語は必要との想定ですので、その点をご留意願います。 現地傭人と現地再委託とを、質問の通り使い分けることは可能です。その一方で、通訳という役務を提供する傭人と、作業を委託して成果品を求める再委託とは異なりますので、これを前提にし

	(6)中央アジア地域関係機関などの協力を得た遠隔での調査実施	よいでしょうか。	た使い分けをお願いします。
5	P18 第3 特記仕様書案 5.調査の内容 (7)中央アジア地域向け説明資料案の作成、 及び P21 第4 業務実施上の条件 (2)1)業務量の目途	説明資料案として作成する資料について、業務量の想定と、追加計上すべき費用の有無を検討するため、その仕様についてご教示をお願いします。 ・大きさ、ページ数 ・成果物の言語 ・成果物に含むべき内容 ・成果物の仕様(印刷物の場合は部数、デジタルデータの場合は提出すべきデータ仕様)	説明資料案の仕様については、以下の想定で考えております。 ・大きさ、ページ数:パワーポイント資料 60 ページ程度 ・成果物の言語:日本語、英語、ロシア語 ・成果物に含むべき内容:別紙 最終目次案の内容(COVID-19 対応含む)や各国事情に合わせた観光消費額やリピーター率を上げるための訴求内容、対応策等 ・成果物のデータ仕様: 電子データによる提出
6	4 ページ (6) 見積書	2) a) には旅費(航空賃)は別見積にしてくださいと書いてありますが、4) c) には旅費(航空賃)は別見積もりではなく、見積書の内訳として計上してくださいと書かれています。どちらでしょうか？	旅費(航空賃)は別見積もりとして計上をお願い致します。
7	4 ページ (6) 見積書	旅費(航空賃)はYクラス航空券(往復)を900千円で計上することになっていますが、1名分の運賃と想定されていますか。またこの航空賃は3カ国内での周遊の航空賃は含まれているでしょうか、3カ国のいずれかの国との往復料金を想定しているでしょうか？想定ルートをお知らせいただけますか。 もし、3カ国のいずれかの国との往復料金を想定しているとすれば、3カ国内での周遊の航空賃は一般業務費の中で見積ということでしょうか。	通番号1の回答のとおり、現地に派遣する団員1名が現地調査対象である3カ国(ウズベキスタン、キルギス、カザフスタン)をまとめて周遊した場合の航空券費用の合計金額を指しています。なお、コロナ感染状況の結果、周遊可否についても変更になる可能性はございます。 国際移動及び国内移動の費用については、別見積もりでのご提出をお願いします。

8	10 ページ (2) 業務の実施方針等 11 ページ (3) 業務従事予定者の経験、能力	2) 評価対象業務従事者の経歴に評価対象の団員は「英語（ロシア語ができることが望ましい）」と書かれていますが、ロシア語ができることが13 ページのプロポーザル評価配点表の 3. (1)、(2) の語学力の評価にも反映されるのでしょうか？ また、10 ページの脚注 1 には「評価団員でロシア語に対応できるものがない場合は、他の業務従事者に必ずロシア語に対応できる 人員を組み入れて提案すること。」とありますが、前の段落の部分も合わせて、要員計画で評価されるということでしょうか？	語学評価は英語で行い、ロシア語は資格証明などあれば「その他学位、資格」で加点することになります。調査対象における文献や WEB 情報等ではロシア語が大半を占めるため、ロシア語ができることが望ましいと考えます。 「業務実施の方法の具体性、現実性等」や「要員計画等の妥当性」の一部として評価することになります。
9	14 ページ (1) 調査対象国／調査対象地域	「「5. 調査の内容」(5) 2) 以降の調査については、特にウズベキスタン、キルギス、カザフスタンの 3 カ国を調査する。」とありますが、(6) (7) の調査項目は 5 カ国を対象に行うのでしょうか、3 カ国を対象に行うのでしょうか？	(6)、(7) を含む、いずれの調査項目も 5 カ国を対象としています。但し、ウズベキスタン、キルギス、カザフスタンについては重点的に調査していたと考えています。
10	15 ページ (6) 中央アジア地域関係機関などの協力を得た遠隔での調査実施 21 ページ (3) 現地再委託	「中央アジア地域関係機関」は、調査対象 5 カ国の政府を指しているのでしょうか、CAREC などの地域協力機関を指しているのでしょうか。 15 ページには、「本調査は、本邦在住団員による日本国内での調査と対象国在住団員（現地傭人もしくは現地再委託）による現地調査の組み合わせによって実施することを想定している。」とありますが、対象国在住団員は対象国の「人材」という理解でよろしいでしょうか。 また、21 ページには「(7) 中央アジア地域関係機関などの協力を得た遠隔での調査実施」とあり	「中央アジア地域関係機関」は、5 カ国の中央省庁（観光関連行政組織）、各国観光協会、各国在日観光局、学術研究機関、国際機関（UNWTO、ADB、UNESCO、WB 等）、各観光事業者、NGO 等、様々な機関を含みます。但し、機関の選択についてはプロポーザル等で提案していただくことが望ましいと考えます。また、JICA から契約後に相談申し上げる可能性もあります。 質問の意図を十分理解しているか定かではありませんが、「法人」ではなく、「人材」のことです。「国籍」を問うているのであればこれにはこだわり

		ますが、これは上述の 15 ページの記述のことであるということでしょうか。	ません。 誤記があり、失礼しました。 ご認識のとおり、上述「(6)中央アジア地域関係機関などの協力を得た遠隔での調査実施」のことを指しています。
11	18 ページ (7) 中央アジア地域向け説明資料案の作成	この説明資料は報告書等の中に含まれていませんが、どのような体裁のものを作成することを想定されているでしょうか。また言語の想定も教えてください（印刷はせず、デジタルデータのみでよろしいですか、印刷物を提出する場合は想定する部数はありますか）？	通番号 5 回答のとおり、以下の想定で考えています。 ・大きさ、ページ数：パワーポイント資料 60 ページ程度 ・成果物の言語：日本語、英語、ロシア語 ・成果物に含むべき内容：別紙 最終目次案の内容（COVID-19 対応含む）や各国事情に合わせた観光消費額やリピーター率を上げるための訴求内容、対応策等 ・成果物のデータ仕様：電子データによる提出
12	18 ページ 6. 報告書等	調査項目にあるドラフトファイナルレポートが、6.報告書等の表に記載されていません。提出時期、部数、言語などについて教えてください。	ドラフトファイナルレポートは不要としています。但し、P17 「(4)調査の進捗管理」にもありますとおり、情報収集・分析結果の進捗については定期的にご報告頂きたいと思います。
13	18 ページ 6. 報告書等	表中のワークプランの部数などは「和文」とのみ記されていますが、その部数は 3 部でよろしいでしょうか？	5. 報告書 エ)報告書の仕様にありますとおり、成果品であるファイナルレポート以外の仕様はメールにてデータ送付いただければと思います。

14	16 ページ 5. 調査の内容 18 ページ (6) 日本及び他国における先進的な観光開発における域内連携の事例の抽出・整理	16 ページの脚注 2、18 ページの脚注 6 は脚注文書がありません。これらは文章がないということをご確認いただけますか？	16 ページの注釈 2 「以下調査内容以外に、必要と思われる調査内容・方法があればプロポーザルにおいて提案すること」をお願い致します。また、18 ページの注釈 6 について注釈は削除します。
15	日当・宿泊費の計上方法	本調査においては、1 回の現地渡航でカザフスタン、キルギス、ウズベキスタンの 3 カ国を周遊して現地調査を実施することが企画競争説明書で指示されています。 かかる現地渡航の渡航日数について、1 カ国当りの滞在日数が 30 日以下、かつ 3 カ国合計の渡航日数が 30 日を超える場合、JICA の「経費処理ガイドライン」の渡航日数が 30 日を超えた場合の日当・宿泊費の調整にかかる規定(31 日目から 90%)は適用されるのでしょうか？ 同一国内での 30 日を超える連泊にはならないため、実際の宿泊費も割引にならないと考えます。	現地渡航の渡航日数について、1 カ国当りの滞在日数が 30 日以下、かつ 3 カ国合計の渡航日数が 30 日を超える場合、JICA の「経費処理ガイドライン」の渡航日数が 30 日を超えた場合の日当・宿泊費の調整にかかる規定(31 日目から 90%)は適用されます。
16	P.18 (7) 中央アジア地域向け説明資料案	「中央アジア地域向け説明資料案」については、P.18 6. 報告書等の成果品に含まれておりません。 ついては、印刷・製本等を伴わない、汎用的なファイル形式(Word、Power Point、PDF、等)でデータのみを提出するものと考えてよろしいでしょうか。	「中央アジア地域向け説明資料等」については、印刷・製本等は伴いません。汎用的なファイル形式(Power Point、Word、PDF 等)データを想定しています。

以 上